

令和6年度 SSH 生徒研究発表会報告

1日目（8月6日）移動→ポスター準備

1日目はほとんどが移動。9：50 飯山駅を出発して会場に到着したのが15：00。ポスターの準備はセッティングと係員による検査で30分かからずスムーズに終わりました。



📍 飯山高校の名前発見！

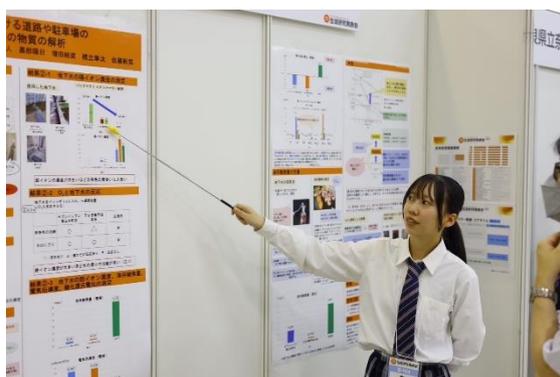
2日目（8月7日）ポスター発表（審査あり）→全体会(代表校選出)



見学時には、各ブロックへ「good job シート」と呼ばれる小さな感想用紙を渡して交流を深めていました。

新潟県の高校は「消雪パイプの錆と地域の関係」という飯山高校の発表と関連のある研究をしており、お互いの発表を聞き合っていました。

各ブロック発表時間と見学時間が決められており、発表時には審査も行われました。審査員からは鋭い質問の応酬でしたが、何とか自分たちの言葉で返答することができていました。



3日目（8月8日）全体会（代表者発表）→ポスター発表→全体会（講評）

各分野より1グループ、計5校の代表者の発表がありました。地域の積雪量の違いについて調査した学校は、アメダスによるデータの収集や風の通り道を調べるために山の地形を紙粘土で作成するなど、地道な取り組みが評価されていました。5校中2校は積雪量も含め地域と連携した研究でした。総じて感じたことは特に難しいことを取り組んでいるわけではなく、高校生らしい発想や着眼点が評価されていると感じました。



来年度への反省として、ポスター発表では前の机がさみしいように感じました。実験で使用した器具や資料を広げられると多くの発表者がある場で、注目してもらいやすい。ポスターの資料をA4の資料に印刷して、配布しているグループもありました。

📍飯山駅着 21:30！お疲れ様でした。